

## 作物統計調査 令和7年産花きの作付（収穫）面積及び出荷量

令和7年産切り花類の出荷量は26億7,900万本で、  
前年産に比べ6%減少

### 【調査結果の概要】

#### 1 切り花類

作付面積<sup>※</sup>は1万1,670ha、出荷量は26億7,900万本で、前年産に比べそれぞれ690ha（6%）、1億6,700万本（6%）減少した。

※ 作付面積とは、販売を意図して、花き栽培のために利用することを目的に作付けした面積をいう。

#### 2 球根類

収穫面積<sup>※</sup>は211haで、前年産に比べ7ha（3%）増加、出荷量は5,070万球で、前年産に比べ740万球（13%）減少した。

※ 収穫面積とは、球根類及び鉢ものの類の作付面積のうち、収穫した花きの利用面積をいい、育成中の利用面積を除いたものをいう。

#### 3 鉢ものの類

収穫面積は1,314ha、出荷量は1億5,500万鉢で、前年産に比べそれぞれ50ha（4%）、830万鉢（5%）減少した。

#### 4 花壇用苗ものの類

作付面積は1,136ha、出荷量は4億5,210万本で、前年産に比べそれぞれ57ha（5%）、4,500万本（9%）減少した。

図1 花きの作付（収穫）面積及び出荷量（全国）

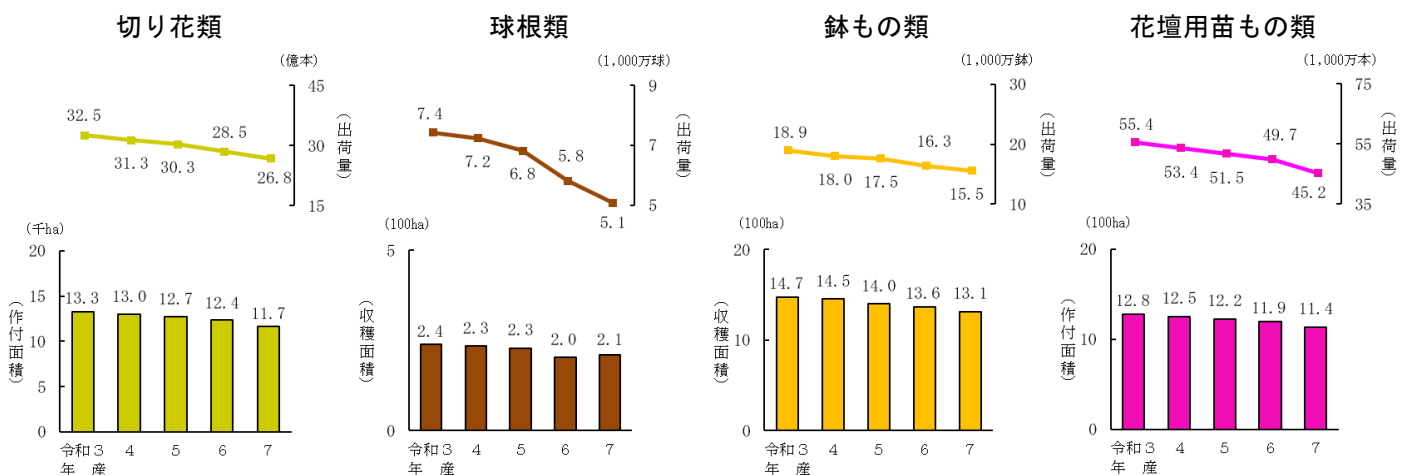


表1 令和7年産花きの作付（収穫）面積及び出荷量（全国）

類・品目	作付（収穫）面積	出荷量	対前年産比	
			作付（収穫）面積	出荷量
	a	千本（球・鉢）	%	%
切り花類	1,167,000	2,679,000	94	94
うちき	352,000	1,046,000	92	94
うち輪ぎ	181,600	553,700	nc	nc
スプレイぎ	65,800	200,300	nc	nc
小ぎ	104,600	292,300	nc	nc
カーネーション	19,700	154,300	92	90
ばら	22,900	148,500	90	87
りんどう	35,700	64,200	93	94
宿根かすみそう	19,700	47,700	99	100
スターチス	16,400	100,900	100	90
ガーベラ	6,680	114,700	95	99
トルコギキョウ	35,900	74,800	94	96
ゆり	54,200	89,500	92	91
アルストロメリア	7,920	53,600	98	100
切り葉	45,900	68,000	85	92
切り枝	340,100	186,300	97	96
球根類	21,100	50,700	103	87
鉢ものの類	131,400	155,000	96	95
うちシクラメン	14,200	12,100	95	90
洋ラン類	14,600	10,200	94	94
観葉植物	24,100	35,800	99	94
花木類	26,100	25,800	97	95
花壇用苗ものの類	113,600	452,100	95	91
うちパンジー	22,900	94,700	101	98

注：1 本年産は全ての都道府県を調査対象とする全国調査を実施した。きくの内訳品目（輪ぎく、スプレイぎく及び小ぎく）については、全国調査年のみ調査を実施することとしている。

2 切り花類、鉢ものの類及び花壇用苗ものの類の値は、表章されている内訳品目以外の品目を含んだ合計である。

3 球根類及び鉢ものの類は、収穫面積である。

4 出荷量の単位は、切り花類及び花壇用苗ものの類が千本、球根類が千球、鉢ものの類が千鉢である。

◎ 累年データ

花きの類別作付（収穫）面積及び出荷量（全国）

区 分	1 切り花類		2 球根類		3 鉢もの類		4 花壇用苗もの類	
	作付面積 ha	出 荷 量 万本	収穫面積 ha	出 荷 量 万球	収穫面積 ha	出 荷 量 万鉢	作付面積 ha	出 荷 量 万本
平成28年産	14,590	378,100	317	9,540	1,675	22,650	1,450	64,930
29	14,460	370,400	304	9,110	1,643	22,120	1,401	60,960
30	14,170	353,400	287	8,560	1,605	20,960	1,378	59,840
令和元	13,800	348,200	259	7,630	1,549	20,500	1,327	57,900
2	13,410	325,200	255	7,370	1,503	19,100	1,301	56,560
3	13,280	324,900	239	7,420	1,474	18,860	1,277	55,440
4	12,970	313,300	234	7,230	1,452	18,040	1,253	53,440
5	12,710	302,800	229	6,810	1,400	17,540	1,223	51,540
6	12,360	284,600	204	5,810	1,364	16,330	1,193	49,710
7	11,670	267,900	211	5,070	1,314	15,500	1,136	45,210

資料：農林水産省統計部「花き生産出荷統計」

【調査結果】

1 切り花類

(1) 計

ア 作付面積は1万1,670haで、前年産に比べ690ha（6％）減少した。

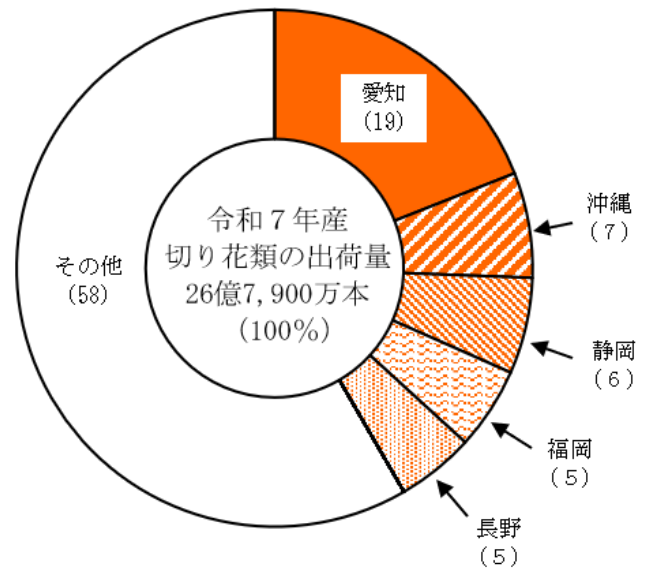
これは、生産者の高齢化等の労力事情により作付中止や規模縮小があったこと等による。

イ 出荷量は26億7,900万本で、前年産に比べ1億6,700万本（6％）減少した。

これは、作付面積の減少や夏期の高温の影響により生育不良がみられたこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が19％で最も高く、次いで沖縄県が7％、静岡県が6％、福岡県及び長野県がそれぞれ5％となっている。

図2 切り花類の都道府県別出荷量割合



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下図22まで同じ。）。

表2 令和7年産切り花類の作付面積及び出荷量（全国）

類 別	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
切 り 花 類	ha 11,670	万本 267,900	% 94	% 94

(2) きく

ア 作付面積は3,520haで、前年産に比べ301ha（8％）減少した。

これは、生産者の高齢化等の労力事情による作付中止や規模縮小に加え、他作物への転換があったこと等による。

イ 出荷量は10億4,600万本で、前年産に比べ6,500万本（6％）減少した。

これは、作付面積が減少したこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が37％で最も高く、次いで沖縄県が15％、福岡県が6％、鹿児島県が5％、長崎県が4％となっており、この5県で全国の約7割を占めている。

図3 きくの都道府県別出荷量割合

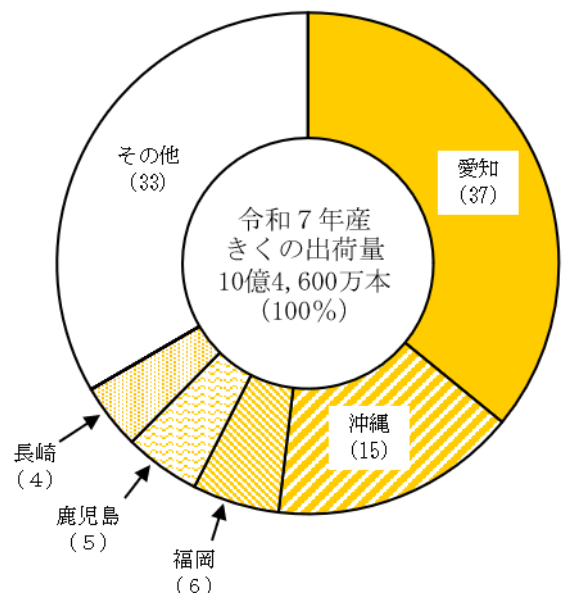


表3 令和7年産きくの作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
き く	ha 3,520	万本 104,600	% 92	% 94

### (3) カーネーション

ア 作付面積は197haで、前年産に比べ18ha（8％）減少した。

これは、生産者の高齢化等の労力事情により作付中止や規模縮小があったこと等による。

イ 出荷量は1億5,430万本で、前年産に比べ1,650万本（10％）減少した。

これは、作付面積の減少に加え、夏期の高温の影響により生育不良がみられたこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、長野県が21％で最も高く、次いで愛知県が18％、北海道、千葉県及び兵庫県がいずれも9％となっており、この5道県で全国の約7割を占めている。

図4 カーネーションの都道府県別出荷量割合

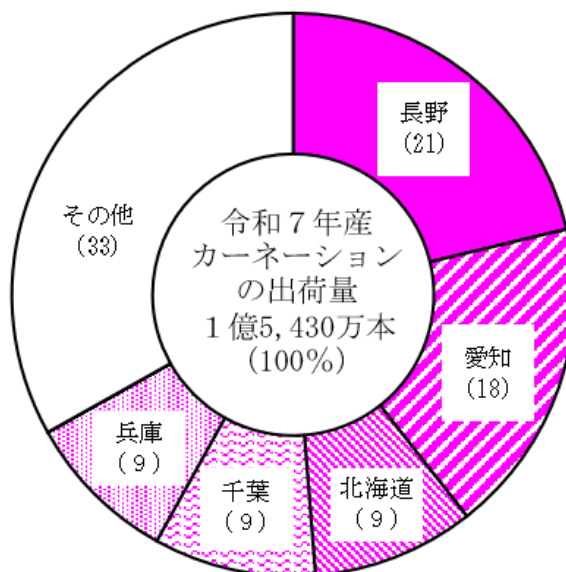


表4 令和7年産カーネーションの作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
カ ー ネ ー シ ョ ン	197	15,430	92	90

### (4) ばら

ア 作付面積は229haで、前年産に比べ25ha（10％）減少した。

これは、生産者の高齢化等の労力事情により作付中止や規模縮小があったこと等による。

イ 出荷量は1億4,850万本で、前年産に比べ2,280万本（13％）減少した。

これは、作付面積の減少に加え、夏期の高温の影響により生育不良がみられたこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が18％で最も高く、次いで静岡県が10％、山形県が8％、福岡県が7％、群馬県が6％となっており、この5県で全国の約5割を占めている。

図5 ばらの都道府県別出荷量割合

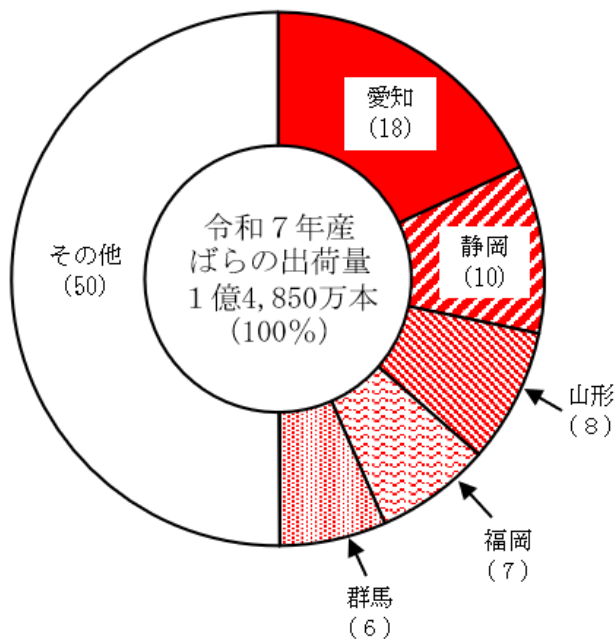


表5 令和7年産ばらの作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
ば ら	229	14,850	90	87

(5) りんどう

ア 作付面積は357haで、前年産に比べ26ha（7％）減少した。

これは、生産者の高齢化等の労力事情により作付中止や規模縮小があったこと等による。

イ 出荷量は6,420万本で、前年産に比べ410万本（6％）減少した。

これは、作付面積が減少したこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、岩手県が62％で最も高く、次いで山形県が11％、秋田県が10％となっており、この3県で全国の約8割を占めている。

図6 りんどうの都道府県別出荷量割合

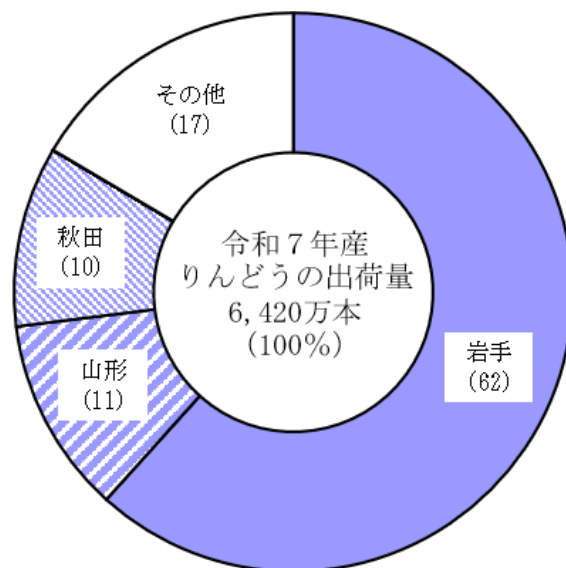


表6 令和7年産りんどうの作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
りん ど う	ha 357	万本 6,420	% 93	% 94

(6) 宿根かすみそう

ア 作付面積は197haで、前年産に比べ1ha（1％）減少した。

イ 出荷量は4,770万本で、前年産並みとなった。

ウ 都道府県別出荷量割合は、熊本県が38％で最も高く、次いで和歌山県が22％、福島県が19％、北海道が5％となっており、この4道県で全国の約8割を占めている。

図7 宿根かすみそうの都道府県別出荷量割合

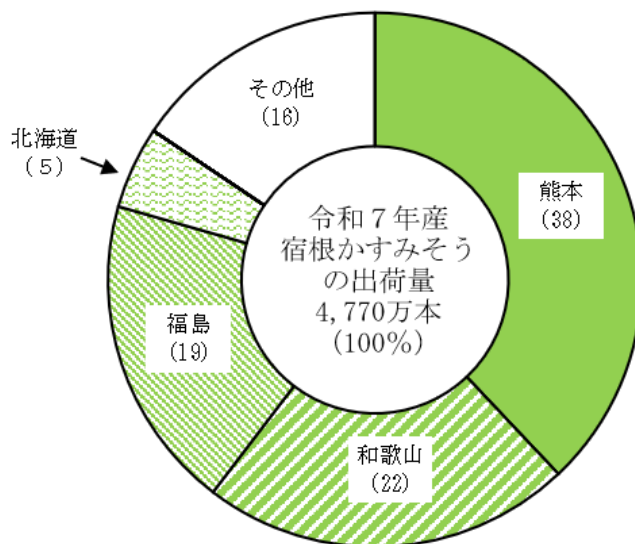


表7 令和7年産宿根かすみそうの作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
宿 根 か す み そ う	ha 197	万本 4,770	% 99	% 100

(7) スターチス

ア 作付面積は164haで、前年産並みとなった。

イ 出荷量は1億90万本で、前年産に比べ1,130万本（10%）減少した。

これは、夏期の高温の影響により生育不良がみられたこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、和歌山県が54%で最も高く、次いで北海道が25%、長野県が8%となっており、この3道県で全国の約9割を占めている。

図8 スターチスの都道府県別出荷量割合

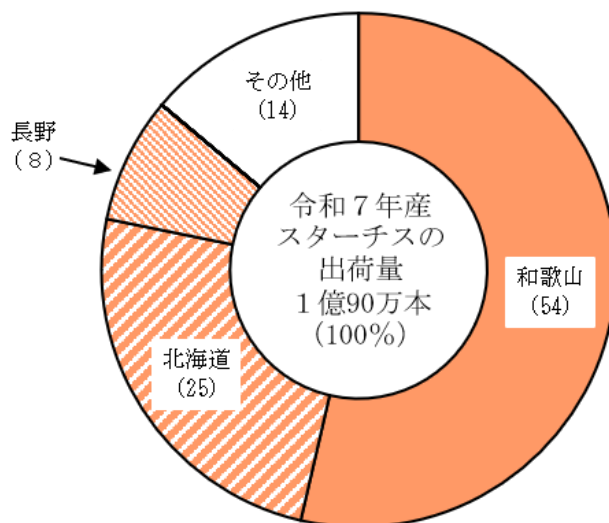


表8 令和7年産スターチスの作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
ス タ ー チ ス	ha	万本	%	%
	164	10,090	100	90

(8) ガーベラ

ア 作付面積は67haで、前年産に比べ3ha（5%）減少した。

イ 出荷量は1億1,470万本で、前年産に比べ140万本（1%）減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、静岡県が42%で最も高く、次いで福岡県が16%、和歌山県が10%、愛知県及び長崎県がそれぞれ6%となっており、この5県で全国の約8割を占めている。

図9 ガーベラの都道府県別出荷量割合

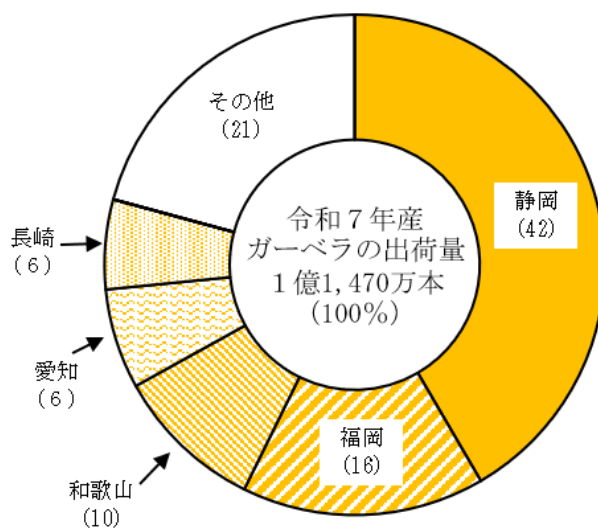


表9 令和7年産ガーベラの作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
ガ ー ベ ラ	ha	万本	%	%
	67	11,470	95	99

(9) トルコギキョウ

ア 作付面積は359haで、前年産に比べ21ha（6%）減少した。

これは、生産者の高齢化等の労力事情により作付中止や規模縮小があったこと等による。

イ 出荷量は7,480万本で、前年産に比べ350万本（4%）減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、長野県が14%で最も高く、次いで熊本県が11%、福岡県が10%、高知県及び静岡県がそれぞれ5%となっている。

図10 トルコギキョウの都道府県別出荷量割合

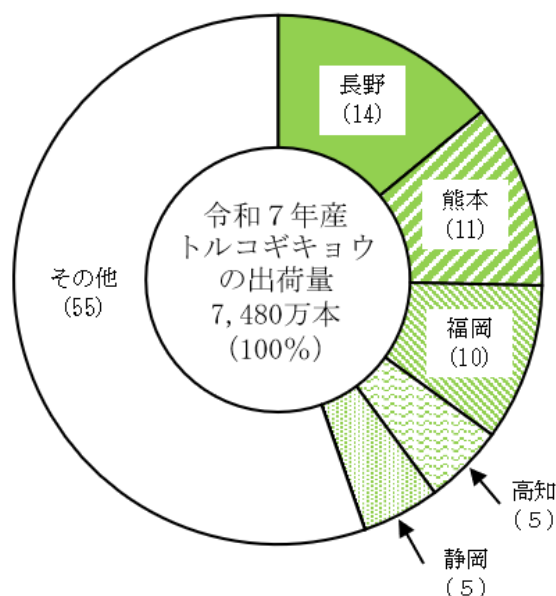


表10 令和7年産トルコギキョウの作付面積及び出荷量（全国）

品目	作付面積	出荷量	対前年産比	
			作付面積	出荷量
トルコギキョウ	359 ha	7,480 万本	94 %	96 %

(10) ゆり

ア 作付面積は542haで、前年産に比べ44ha（8%）減少した。

これは、生産者の高齢化等の労力事情や球根等の値上がりに伴う経費高騰により作付中止や規模縮小があったこと等による。

イ 出荷量は8,950万本で、前年産に比べ850万本（9%）減少した。

これは、作付面積の減少に加え、夏期の高温の影響により生育不良がみられたこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、埼玉県が21%で最も高く、次いで高知県が13%、新潟県が10%、宮崎県及び千葉県がそれぞれ6%となっており、この5県で全国の約6割を占めている。

図11 ゆりの都道府県別出荷量割合

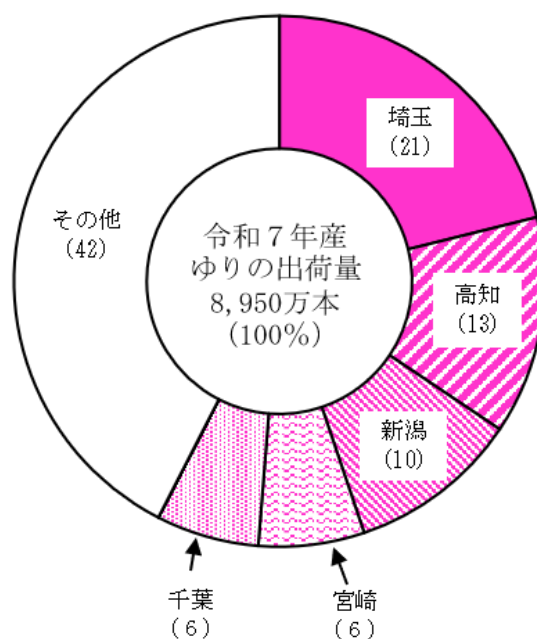


表11 令和7年産ゆりの作付面積及び出荷量（全国）

品目	作付面積	出荷量	対前年産比	
			作付面積	出荷量
ゆり	542 ha	8,950 万本	92 %	91 %

(11) アルストロメリア

ア 作付面積は79haで、前年産に比べ2ha（2%）減少した。

イ 出荷量は5,360万本で、前年産並みとなった。

ウ 都道府県別出荷量割合は、長野県が43%で最も高く、次いで愛知県が22%、山形県が10%、北海道が8%となっており、この4道県で全国の約8割を占めている。

図12 アルストロメリアの都道府県別出荷量割合

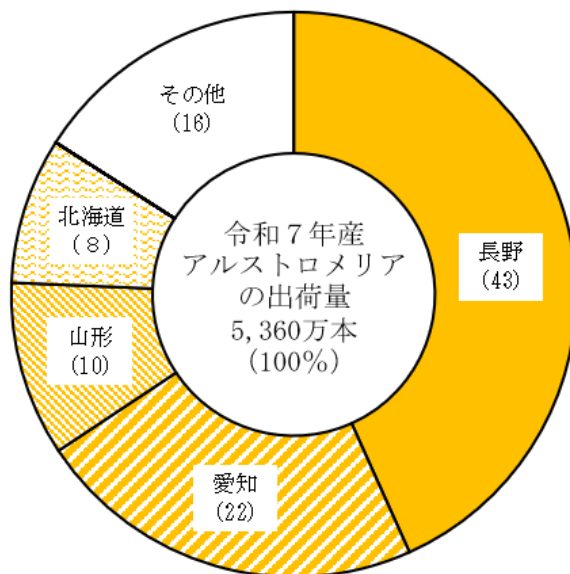


表12 令和7年産アルストロメリアの作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
アルストロメリア	79 ha	5,360 万本	98 %	100 %

(12) 切り葉

ア 作付面積は459haで、前年産に比べ83ha（15%）減少した。

これは、生産者の高齢化等の労力事情による作付中止や規模縮小に加え、台風や豪雨により施設被害があったこと等による。

イ 出荷量は6,800万本で、前年産に比べ600万本（8%）減少した。

これは、作付面積が減少したこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、東京都が28%で最も高く、次いで沖縄県が21%、鹿児島県が16%、静岡県が8%、千葉県が5%となっており、この5都県で全国の約8割を占めている。

図13 切り葉の都道府県別出荷量割合

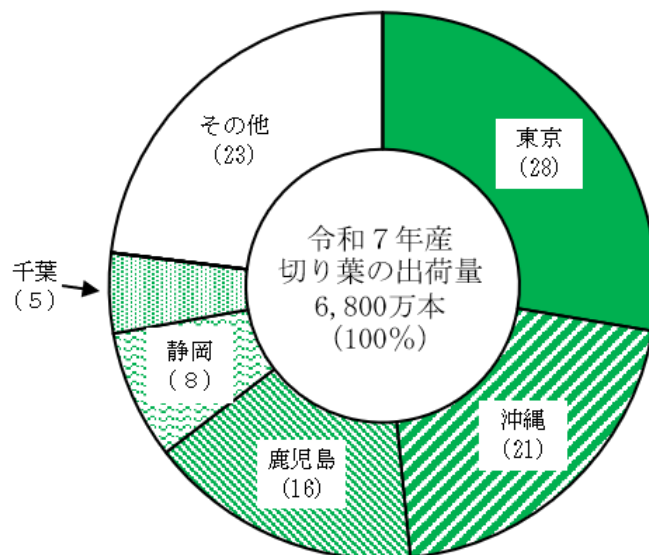


表13 令和7年産切り葉の作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
切 り 葉	459 ha	6,800 万本	85 %	92 %

### (13) 切り枝

ア 作付面積は3,401haで、前年産に比べ99ha（3％）減少した。

イ 出荷量は1億8,630万本で、前年産に比べ830万本（4％）減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、静岡県及び茨城県がそれぞれ16%で最も高く、次いで愛媛県、宮崎県及び大分県がいずれも5%となっており、この5県で全国の約5割を占めている。

図 14 切り枝の都道府県別出荷量割合

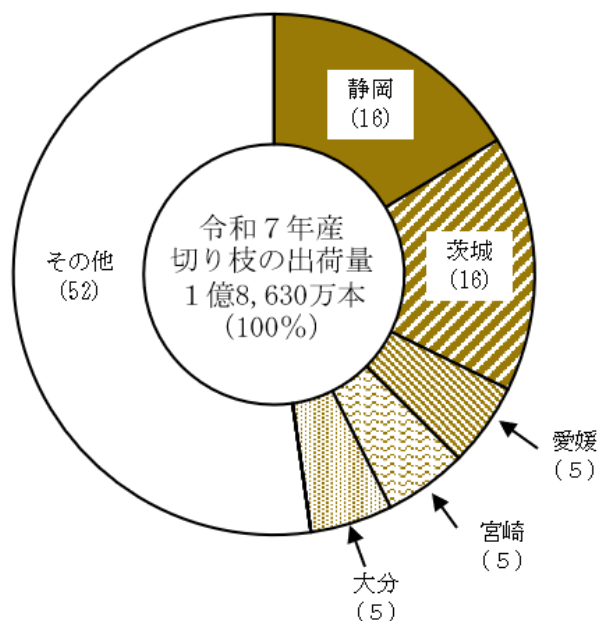


表 14 令和 7 年産切り枝の作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
切 り 枝	ha	万本	%	%
	3,401	18,630	97	96

## 2 球根類

(1) 収穫面積は211haで、前年産に比べ7ha（3％）増加した。

(2) 出荷量は5,070万球で、前年産に比べ740万球（13％）減少した。

これは、4月頃の日照不足や夏期の高温の影響により球根の肥大が停滞したこと等による。

(3) 都道府県別出荷量割合は、鹿児島県が26%で最も高く、次いで新潟県が18%、富山県が16%、宮崎県が12%、愛知県が9%となっており、この5県で全国の約8割を占めている。

図 15 球根類の都道府県別出荷量割合

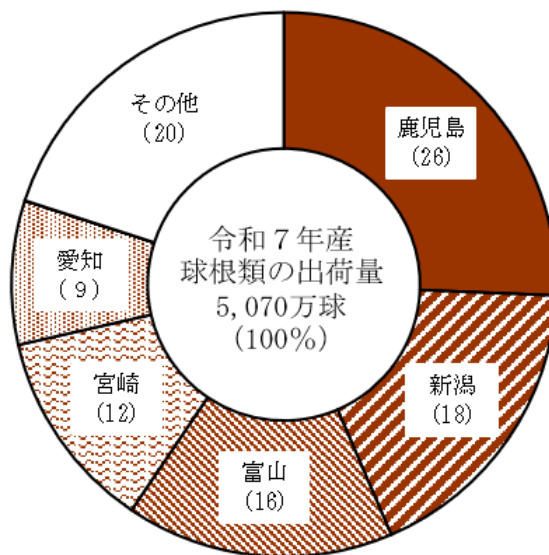


表 15 令和 7 年産球根類の収穫面積及び出荷量（全国）

類 別	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
球 根 類	ha	万球	%	%
	211	5,070	103	87

### 3 鉢ものの類

#### (1) 計

ア 収穫面積は1,314haで、前年産に比べ50ha（4％）減少した。

イ 出荷量は1億5,500万鉢で、前年産に比べ830万鉢（5％）減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が26％で最も高く、次いで埼玉県が8％、静岡県及び岐阜県がそれぞれ7％、千葉県が5％となっており、この5県で全国の約5割を占めている。

図16 鉢ものの類の都道府県別出荷量割合

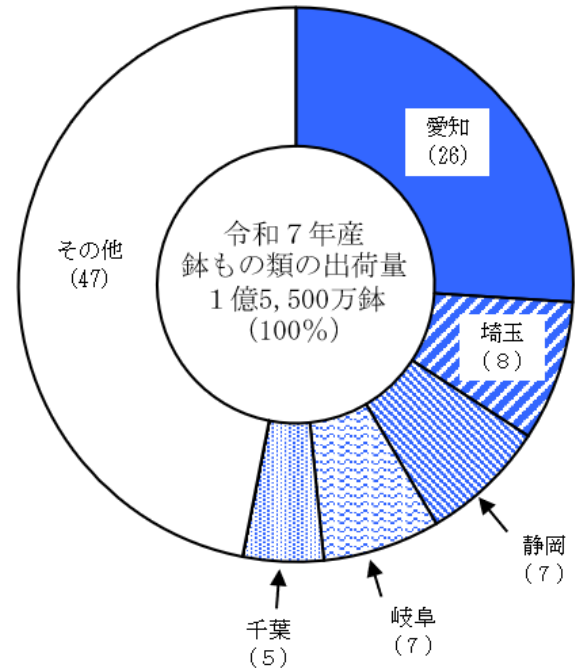


表16 令和7年産鉢ものの類の収穫面積及び出荷量（全国）

類 別	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
鉢 物 の 類	ha 1,314	万鉢 15,500	% 96	% 95

#### (2) シクラメン

ア 収穫面積は142haで、前年産に比べ8ha（5％）減少した。

イ 出荷量は1,210万鉢で、前年産に比べ140万鉢（10％）減少した。

これは、収穫面積の減少に加え、夏期の高温の影響により生育不良がみられたこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が12％で最も高く、次いで長野県が11％、群馬県及び千葉県がそれぞれ7％、福島県が6％となっている。

図17 シクラメンの都道府県別出荷量割合

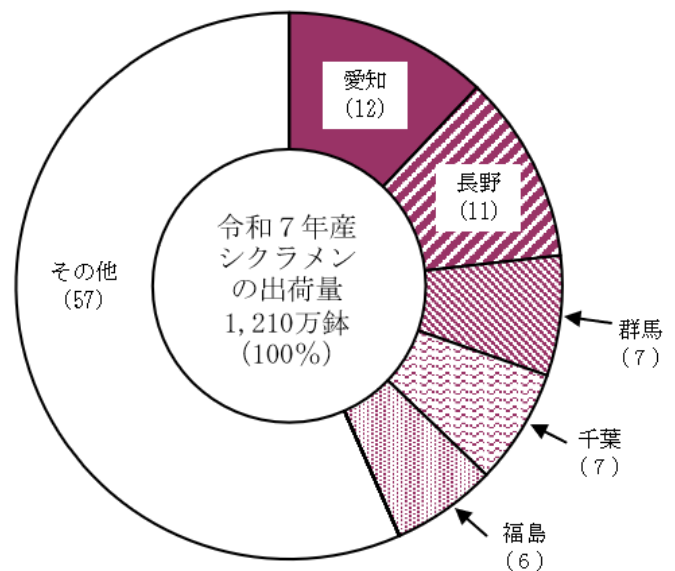


表17 令和7年産シクラメンの収穫面積及び出荷量（全国）

品 目	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
シ ク ラ メ ン	ha 142	万鉢 1,210	% 95	% 90

### (3) 洋ラン類

ア 収穫面積は146haで、前年産に比べ10ha（6％）減少した。

これは、生産者の高齢化等の労力事情により作付中止や規模縮小があったこと等による。

イ 出荷量は1,020万鉢で、前年産に比べ70万鉢（6％）減少した。

これは、収穫面積が減少したこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が25％で最も高く、次いで熊本県及び千葉県がそれぞれ10％、福岡県が8％、山梨県が5％となっており、この5県で全国の約6割を占めている。

図 18 洋ラン類の都道府県別出荷量割合

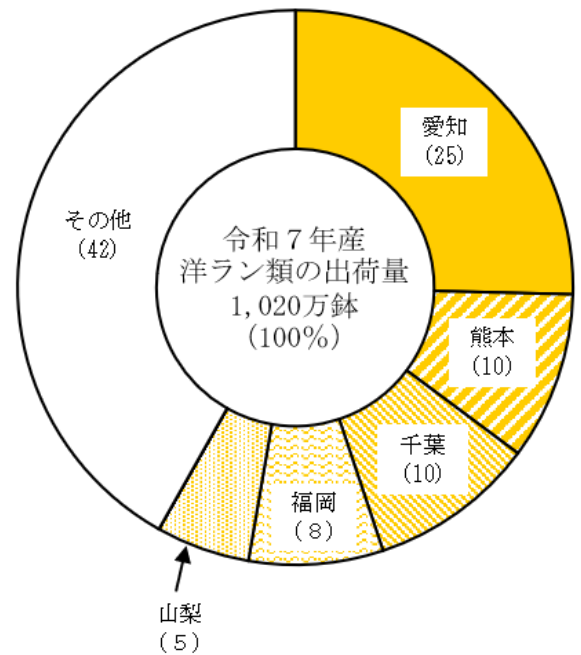


表 18 令和 7 年産洋ラン類の収穫面積及び出荷量（全国）

品 目	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
洋 ラ ン 類	ha 146	万鉢 1,020	% 94	% 94

### (4) 観葉植物

ア 収穫面積は241haで、前年産に比べ3ha（1％）減少した。

イ 出荷量は3,580万鉢で、前年産に比べ210万鉢（6％）減少した。

これは、収穫面積の減少に加え、夏期の高温の影響により生育不良がみられたこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が48％で最も高く、次いで静岡県が13％、三重県が9％、岐阜県及び福岡県がそれぞれ5％となっており、この5県で全国の8割を占めている。

図 19 観葉植物の都道府県別出荷量割合

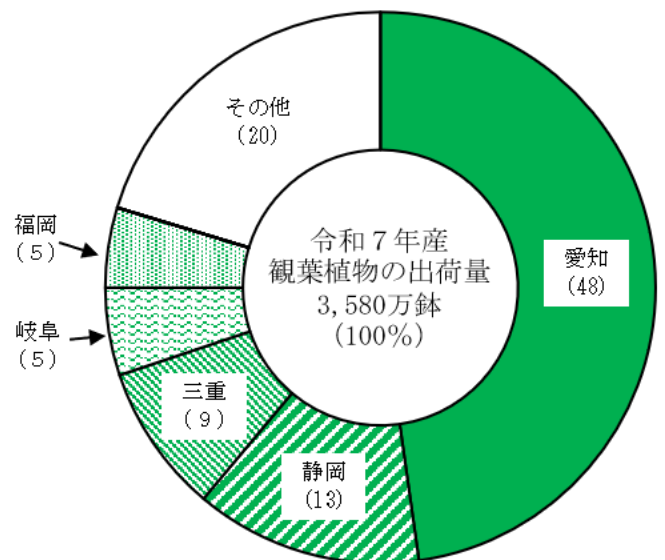


表 19 令和 7 年産観葉植物の収穫面積及び出荷量（全国）

品 目	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
観 葉 植 物	ha 241	万鉢 3,580	% 99	% 94

## (5) 花木類

ア 収穫面積は261haで、前年産に比べ9ha（3%）減少した。

イ 出荷量は2,580万鉢で、前年産に比べ140万鉢（5%）減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が21%で最も高く、次いで岐阜県が15%、新潟県が14%、埼玉県が8%、静岡県が6%となっており、この5県で全国の約6割を占めている。

図20 花木類の都道府県別出荷量割合

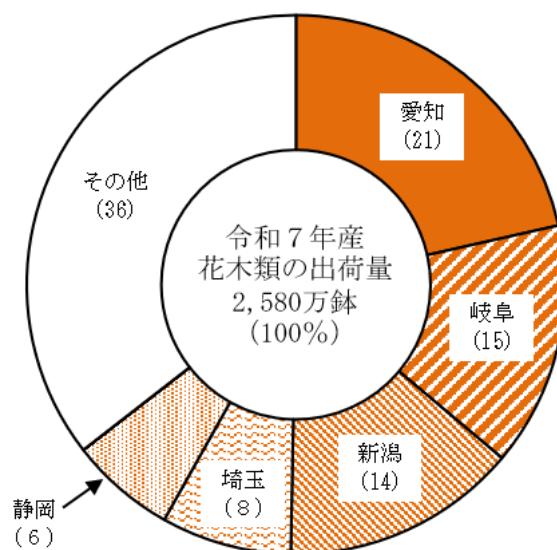


表20 令和7年産花木類の収穫面積及び出荷量（全国）

品 目	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
花 木 類	ha	万鉢	%	%
	261	2,580	97	95

## 4 花壇用苗もの類

### (1) 計

ア 作付面積は1,136haで、前年産に比べ57ha（5%）減少した。

イ 出荷量は4億5,210万本で、前年産に比べ4,500万本（9%）減少した。

これは、作付面積の減少に加え、夏期の高温の影響により生育不良がみられたこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、埼玉県が10%で最も高く、次いで愛知県が8%、千葉県が7%、茨城県及び奈良県がそれぞれ5%となっている。

図21 花壇用苗もの類の都道府県別出荷量割合

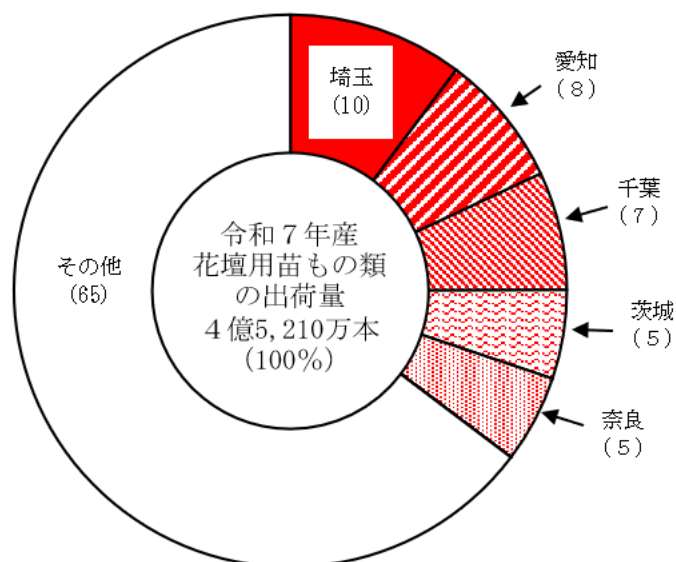


表21 令和7年産花壇用苗もの類の作付面積及び出荷量（全国）

類 別	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
花 壇 用 苗 も の 類	ha	万本	%	%
	1,136	45,210	95	91

(2) パンジー

ア 作付面積は229haで、前年産に比べ2ha（1%）増加した。

イ 出荷量は9,470万本で、前年産に比べ220万本（2%）減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、埼玉県が7%で最も高く、次いで愛知県及び茨城県がそれぞれ6%、神奈川県及び奈良県がそれぞれ5%となっている。

図 22 パンジーの都道府県別出荷量割合

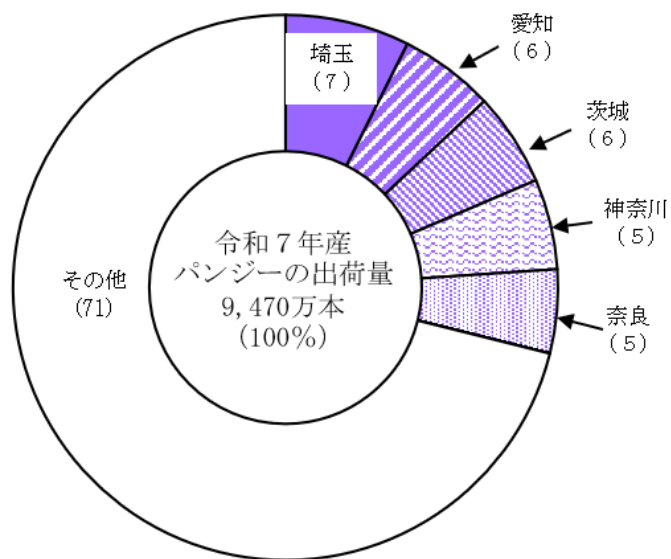


表22 令和7年産パンジーの作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
パ ン ジ ー	229	9,470	101	98

【 統計表 】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040460193&ext=xls>

【 調査の概要 】

[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kaki/gaiyou/](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kaki/gaiyou/)

【 調査結果の主な利活用 】

花きの振興に関する法律（平成 26 年法律第 102 号）に基づき策定された「花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針」において推進される各種対策のための資料

【 ホームページ掲載案内 】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「花き」の「作況調査（花き）」で御覧いただけます。  
[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kaki/#y](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kaki/#y)
- ・ 本資料の数値は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載（令和 8 年 10 月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【 関連リンク 】

花き関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局＞野菜・果樹・花き  
＞花き振興コーナー

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/>

花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針：農林水産省＞組織別から探す＞農産局  
＞野菜・果樹・花き ＞花き振興コーナー

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/attach/pdf/index-103.pdf>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部  
生産流通消費統計課 園芸統計班  
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3680  
（直通）03-6744-2044

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部  
統計企画管理官 統計広報推進班  
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589  
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口  
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>

